

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和8年1月7日

計画の名称	寝屋川公園駅周辺地区都市再生整備計画													
計画の期間	令和01年度～令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	寝屋川市													
計画の目標	地域資源を活用し、賑わいがあり、誰もが住みやすいまちづくり （目標1）子育てしやすいまちづくり （目標2）安全で安心して暮らせるまちづくり （目標3）市の東核にふさわしい駅周辺の賑わいづくり													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		5,246	A	5,246	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29		R5
1	教育環境の充実度			
	寝屋川市が実施する市民意識調査の結果より、地区内の住民の教育環境への認識を集計。	38.1% (16.1%)		49.2% (22.8%)
2	歩行空間のやさしさ度			
	寝屋川市が実施する市民意識調査の結果より、地区内の住民の歩行環境への認識を集計。	22.9% (17.0%)		35.6% (28.1%)
3	駅周辺の魅力度			
	寝屋川市が実施する市民意識調査の結果より、地区内の住民の駅周辺環境への認識を集計。	31.7% (23.3%)		41.1% (29.9%)
4	寝屋川公園駅周辺地区の人口			
	住民基本台帳より町別人口データを収集し、当該地区内の人口を算出。	6,929人		6,929人
5				
6				

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
<p>※番号1～3の指標について、算出根拠となる市民意識調査における回答の選択肢が令和5年度調査では変更されている（「どちらでもない」の選択肢がなくなっている）。このため、事後評価にあたっては、指標1～3の当初現況値及び最終目標値を「どちらでもない」の選択肢が無かった場合の値に換算して評価を行った。（上段：換算後の値、下段：換算前の値）</p>												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	—	—	寝屋川公園駅周辺地区都市再生整備計画	区域面積 56ha	寝屋川市	■	■	■	■	■	5,246		—
											小計						5,246		
											合計						5,246		

事 後 評 価

○事後評価の実施地整、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
寝屋川市において評価を実施	令和6年度
	公表の方法
	寝屋川市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設一体型小中一貫校の整備により、教育環境(特色ある教室や開放的な学習空間など)の向上に寄与したものと考えられる。 ・歩道の拡幅整備、駅前広場整備等により、歩行者の安全性の向上に寄与したものと考えられる。また、施設一体型小中一貫校の整備により、多くの生徒・児童の通学時の安全性の向上に寄与したものと考えられる。 ・駅につながる寝屋川公園駅前線の整備に加え、寝屋川公園への動線確保、駅前広場の整備による利便性や魅力的な空間形成の向上に寄与したものと考えられる。 ・関連事業の土地区画整理事業の完成による土地利用(住宅・店舗・病院等)や施設一体型小中一貫校の整備、魅力ある駅前広場の整備などのまちづくりにより地区内の人口が増加したものと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代においては、特に施設一体型小中一貫校の整備による教育環境の向上により、人口の増加に寄与したものと考えられる。

○特記事項（今後の方針等）

駅周辺の魅力維持

- ・事業により整備された施設の適切な維持管理による寝屋川公園駅周辺の魅力向上
- ・寝屋川公園の地域資源を活かした魅力的なまちづくりの推進
- ・土地区画整理事業で整備された街並みの保全
- ・寝屋川公園などの緑豊かな景観資源との調和や暮らしの拠点として駅前広場などと一体となった景観づくり

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	教育環境の充実度		
	最終目標値	49.2%(22.8%)	・施設一体型小中一貫校の整備により、教育環境(特色ある教室や開放的な学習空間など)の向上に寄与したものと考えられる。
	最終実績値	53.2%	
2	歩行空間のやさしさ度		
	最終目標値	35.6%(28.1%)	・歩道の拡幅整備、駅前広場整備等により、歩行者の安全性の向上に寄与したものと考えられる。また、施設一体型小中一貫校の整備により、多くの生徒・児童の通学時の安全性の向上に寄与したものと考えられる。
	最終実績値	49.4%	
3	駅周辺の魅力度		
	最終目標値	41.1%(29.9%)	・駅につながる寝屋川公園駅前線の整備に加え、寝屋川公園への動線確保、駅前広場の整備による利便性や魅力的な空間形成の向上に寄与したものと考えられる。
	最終実績値	41.8%	
4	寝屋川公園駅周辺地区の人口		
	最終目標値	6,929人	・関連事業の土地区画整理事業の完成による土地利用(住宅・店舗・病院等)や施設一体型小中一貫校の整備、魅力ある駅前広場の整備などのまちづくりにより地区内の人口が増加したものと考えられる。
	最終実績値	7,553人	
5			
	最終目標値		
	最終実績値		
6			
	最終目標値		
	最終実績値		